

磯焼けを考える

磯焼け・・・最近よく聞く言葉です。世界中で起きているといわれますが、秋谷の海を見てもこの現象がよくわかります。以前はカジメやワカメ、ヒジキなどの海藻で海底が見えないほどでしたが、ここ数年海藻の姿は見え（見えてもやせ細ったものが少々）、荒涼とした海底におびたしいウニがはびこっています。何故こんなことになってしまったのか。地域にもよりますが、原因は様々考えられています。大きな発生要因として考えられるのが温暖化といわれます。三浦半島で研究されている方によりますと、海藻とその芽を食べる魚、秋谷周辺では主にアイゴなど。低水温期には活動しなかったアイゴが温暖化によって活動期が長くなり、その分海藻を食べる量が増えたと考えられます。海藻が無くなった岩礁にサンゴモという石灰藻の仲間が附着しやがて覆いつくすようになると、海藻が生えにくい状態になるそうです。そしてサンゴモが分泌するジブロモメタンという成分を好むウニが大量に棲み付くと言われます。そしてわずかな隙間から頑張って生えようとする海藻を食べてしまうそうです。ただウニも海藻が少ないせいで中身が育たず、商品価値が上がりません。漁師さんたちによるウニの駆除活動も行われておりますが、成果は今一つということです。

そんな中、県水産技術センターが試みた実験が目撃を集めています。三浦市で農業残渣として大量に発生したキャベツを厄介物のウニに食べさせた結果、中身が成長し食用として充分扱えるほどになったそうです。しかも美味しいそうです。

当初、大根やブロッコリー、マグロなど20種類を餌として試したところ、キャベツ1玉分を80個のウニが3日間で完食し、2ヶ月間の調査ではウニの体重の12~13%まで身が育ったとのこと。今後は京急油壺マリナーパークや県立海洋科学高校などと連携し、商品化に向け取り組む予定だそうです。

ただウニやアイゴ、サンゴモばかりが悪役のように思われがちですが、彼らは昔から生息しているわけですし、とりわけサンゴモはアワビの生長変態やサンゴ礁の形成にも重要な役割を持つと言われます。やはり温暖化により生態系のバランスが崩れたところに問題があるのでしょうか。



※釣果情報は裏面です

安全航行しましょう!!

- 始業点検(ガソリン・主機・補機・船体・アンカー)
- 常備品(人数分ライフジャケット・信号紅炎・携帯電話・救命浮環・オール・ラジオ)
- 湾内徐行・漁網避難航行・天候注意・水上バイク注意・釣糸注意

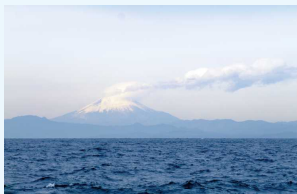
今月の保管施設

出艇数 H29年12月16日~H30年1月15日	66 艇
夜間係留数 H29年12月16日~H30年1月15日	9 艇
保管場所空き状況 平成30年1月25日現在	0 艇

今月の事故	接触等	1	件
	主エンジン停止	0	件
	ガス欠	0	件

秋スポ・トピックス

富士山噴火? 昨年12月8日のワンショットです。富士山頂からたなびく雲があたかも噴煙のように見えます。この時期の富士山は西風が強く風速30m以上になることもしばしば。稜線はカチカチに凍りつき滑ったら麓まで止まらないでしょう。写真から見ても風が強く頂上付近は吹雪いていることがわかります。また笠雲は天気崩れる前兆です。この日の秋谷はその後雨となりました。



【久留和海岸】秋谷から葉山方面に向かい最初の港です。秋谷と同じ大楠漁協の漁港があり遊漁船などもあります。天気の良い日など犬連れ散歩の方も多く、憩いの海岸として地域の方々に愛されています。富士山に向かって真っすぐ棧橋が伸びており、ここにたたずむとまるで海の上にいるような気持ちになります。時間に余裕のある時など立ち寄りてみてはいかがでしょうか。R134「円乗院前」の信号からすぐ。



指定管理者からのお知らせ

継続更新手続きの時期です

指定管理の期間が本年3月をもって終了しますが、4月からの新たな指定管理者に弊社である(株)昭和が選ばれました。皆様とまた一緒にできることに感謝しております。これからもよろしくご依頼申し上げます。まだまだ寒い時期が続きますが、少しずつ春の海に変化しておりますので、旬の魚をゲットしに来て下さい。さて、次年度更新の時期が近づきました。お手続きをお願い致します。BANキャンペーンは3月末までです。未加入の方はこの機会にぜひ!

今月の釣果情報

冬の味覚オンパレードという感じです。アマダイは数が釣れており、中には1キロ超も。見事なトラフグですが、調理はプロにまかせましょう。マハタとイズカサゴ(オニカサゴ)は冬定番の鍋の具材として最高ですね。ワラサ・イナダも好調、脂が乗る時期なので狙いたいところです。またホウボウ、メバル、メジナ、イシダイと根魚も今が一番美味しい時期です。寒い寒いなどと言ってもらえませんね。



アカアマダイ



トラフグ



マハタ



イズカサゴ

小田和湾

4日(日)	7:14 満潮 (145)	12:57 干潮 (62)	中潮
11日(日)	7:30 干潮 (98)	12:54 満潮 (126)	若潮
12日(月)	8:45 干潮 (94)	14:02 満潮 (131)	中潮
18日(日)	6:40 満潮 (147)	12:28 干潮 (54)	中潮
25日(日)	6:26 干潮 (101)	11:47 満潮 (121)	長潮

2月 休日の潮回り

トラブル回避 ワンポイント



帰港時に残念な出来事がありました。着岸時に行き足が止まらず正面壁に衝突しそうなった艇を止めるため、スタッフがポートフックで引き寄せた際に、船体が棧橋の金具に当たり船体外装が損傷しました。当時は潮位が低かったため棧橋上からのサポートでした。いつも呼び掛けておりますが、徐行不十分な艇が目立ちます。風向きにもよりますが、基本はアプローチの段階から前進とニュートラルを繰り返し、ギアを後進に入れなくても行き足が止まるような操船がベストです。漁師さんも勿論このやり方です。スタッフのサポートは、あくまでお手伝い、船長が停船操縦をされるのは言うまでもありません。スキルを磨いて下さい。

メンテナンスしましょう

沖でバッテリーがあがってしまった…。船内外機はもちろんのこと、今や4ストロークエンジンが主流となった船外機もお手上げです。そしてバッテリーが最もあがりやすい時期が真夏と真冬、特に気温の低い2月はオイル粘度も抵抗になり、始動におけるバッテリーの負担は相当なもの。「BANを呼べばいいや」と思っても、厳しい寒さの中、救援を待つのは楽ではありません。事前のバッテリーチェックが大切です。最近では閉閉型が多く、液の比重は計れません。電圧を計るものもありますが、確実では無く、やはり定期交換が一番です。セルモーターの勢いが弱いなど感じたら交換または充電すべきでしょう。ターミナルのゆるみや錆、汚れも始動不良の原因となります。



BANへのご加入はお済みでしょうか?

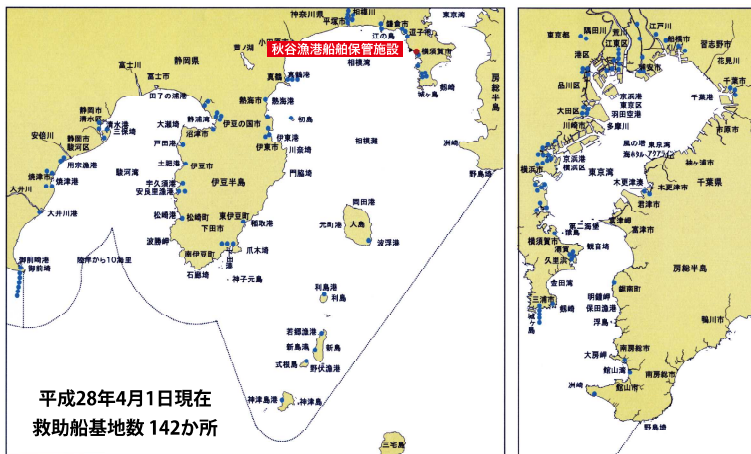
日頃は秋谷漁港船舶保管施設等をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて本施設では、募集要項記載ならびに許可の主旨の両面から、ご利用者様が出艇時になんらかのトラブルに遭遇した場合でもなんら救助する術がございません。

つきましては、ご利用者の皆様に対しまして、BAN (Boat Assistant Network)へご加入するようお願い申し上げます。既にご加入されていらっしゃる皆様もおられることと思いますが、万一のトラブルに対して「24時間365日」の対応と「最寄の港への無料曳航サービス」が受けられるもので、皆様の安全なご利用をサポートするものでもあります。

昨今、各地マリーナでも加入を義務付ける向きの動きもありますので、必ずご加入いただきますようお願い申し上げます。

BAN 関東エリア 救助船基地図



BAN 加入者特典

- ① 所属マリーナが近場の場合には、所属マリーナまでの無料曳航サービスが受けられます。
- ② 所属マリーナから遠隔地の場合でも、最寄りの安全な港まで無料曳航サービスが受けられます。
- ③ 所属マリーナが休日の場合や、夜間の場合でも上記サービスが受けられます。

フリーダイヤル コールアキヤに

詳しくは、秋谷船舶保管施設 ☎ 0120-560982 までお問い合わせください。